

公開講演会のご案内

国際シンポジウムを機に来日するアラン・パジェス氏（パリ第3大学名誉教授）の講演会を下記のように開催します。パジェス氏は、自然主義文学とドレフュス事件が専門で、特にゾラに関して多くの著作を刊行し、主著の一つが邦訳されています。今回の講演では、1894年からほぼ15年間にわたってフランス社会を揺るがし、その後数多くの伝説が形成されたドレフュス事件について、研究の最前線と課題について語っていただきます。

主要著作は次のとおり。

Le Naturalisme, PUF, 1989. 邦訳：『フランス自然主義文学』足立和彦訳、白水社、2013年

Émile Zola, un intellectuel dans l'affaire Dreyfus, Séguier, 1991.

Émile Zola, de « J'accuse » au Panthéon, Lucien Souny, 2008.

Zola et le groupe de Médan. Histoire d'un cercle littéraire, Perrin, 2014.

当日はパジェス氏の講演の後、議論と質疑応答に十分な時間を取る予定です。参加についての事前のご連絡は不要ですので、お気軽にご参加ください。

記

Alain Pagès

(Professeur émérite à l'Université de la Sorbonne nouvelle - Paris 3)

L'affaire Dreyfus. Vérité et légendes

「ドレフュス事件、真実と伝説」

司会：小倉孝誠（慶應義塾大学教授）

日時：2018年11月26日（月） 18:00–20:00

使用言語：フランス語（通訳あり） 入場無料、予約不要

lundi 26 novembre 2018, 18h00-20h00, en français, entrée libre

場所：日仏会館、5階 501室

主催：自然主義文学研究会

共催：日仏会館

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（B）（一般）
桑田光平「現代フランス文芸における「南仏」・「地中海」というトポスに関する包括的研究」

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）
吉田典子「近代芸術形成期における文学と絵画の協働に関する研究」

問合せ先/Contact：小倉孝誠 E-mail: ogura@flet.keio.ac.jp